



新宿山吹だよりは、保護者の皆さんにも読んでもらって下さい。

## アリとキリギリス

校長 永浜 裕之

生徒の皆さんは、イソップ寓話の「アリとキリギリス」の話をご存知ですね？

夏の間、アリたちは冬の食料を蓄えるために働き続け、キリギリスはヴァイオリンを弾き、歌を歌って過ごします。やがて冬が来て、キリギリスは食べ物を探しますが見つかりません。そこでアリたちに物乞いをして、食べ物を分けてもらおうとしますが、アリは「夏にはヴァイオリンを弾いて、歌を歌っていたんだから、冬には踊ったらどうだい？」と、食べ物を分けることを拒否し、キリギリスは飢えて死んでしまう、という話です。

大人は子供たちに「アリとキリギリス」の話を聞かせ勤勉に過ごす大切さを伝えようとしています。

冬のこの時期、エッセイ等を読んでいると、「アリとキリギリス」の話を例に、「勤勉」を話題にした記述を目にすることがあります。昨日も、「キリギリスのように自堕落な無計画な生活をしてはいけない」と、強い表現で書かれた文章を見つけ、気になりました。

何故気になったのかと言うと、「アリとキリギリス」の話は、寓話とはいえ、自然の実態からかけ離れ過ぎているからです。キリギリスが気の毒にさえ思えてきました。

キリギリスが夏の間、草むらで鳴いているのは、ヴァイオリンを弾いて、歌って遊んでいるのではなく、パートナーを求めて求愛行動をしているからです。また、すべてのキリギリスは冬を迎える前に命が尽き、土に還ります。アリに対して、越冬のために物乞いをする必要はありません。

アリに関しても、たとえば働きアリの寿命は2、3カ月です。しかも、将来を見越して困らないように、食料をせっせと貯めこんでいるわけではなく、巣を維持するために必要な最低限のえさを集めているに過ぎません。

つまり、キリギリスを享楽者のたとえ、アリを勤勉な者のたとえに使うのは、人間の勝手な思い込みに過ぎないのです。

冬を前に命が尽きたキリギリスは、春になると姿を現します。どのように命を紡いでいるのでしょうか。

夏、草むらで愛を交わしたキリギリスは、秋に地中深くに卵を産みます。卵のまま冬を超え、温かい春になると孵化して次の世代を担います。

ちなみにアリは、巣穴の中に卵、幼虫、蛹の部屋があり、冬を耐えて過ごします。

昆虫の生態は様々です。

越冬の方法も多様で、キリギリスのように卵で冬越ししたり、アゲハ蝶のように蛹で冬越ししたり、テントウ虫のように板扉の隙間に集団で身を寄せ、冬越ししたりします。秋になると渡り鳥のように暖かい南に移動して、集団で木にとまって越冬する蝶もいます。

昆虫は、とても長い進化史をもっています。

約4億年前には地球に現れ、様々な進化を遂げてきました。

多様性あふれる生活形態を持ち、鳥よりもずっと昔から空を飛べたし、水の中から高い山まで、様々な場所で生活しています。

昆虫の4億年と比べたら、人は、ほんの20万年前に出現した新参者に過ぎません。

そういった先輩に対して、やれ勤勉だ、享楽だと、偉そうに言うのは、彼らに言わせれば、笑止千万といったところではないでしょうか。

福岡伸一「動的平衡」

## 第33回山吹祭「白紙 リスタート！」～文化祭実行委員の取り組み～

生活指導部担当

今年度は、テーマの「白紙 リスタート！」に沿って、生徒自身が一から作り上げる生徒主体の文化祭を目指しました。企画を考えてくれた出展団体の皆さんはもちろん頑張っていました。実は裏方の文化祭実行委員（文実）も、とっても活躍してくれていましたので、この場をお借りして紹介したいと思います。

### <パンフレット・ポスター・山吹祭新聞での広報活動>

毎年文実投票で決定したデザインを表紙にして、ポスターやパンフレットを作成します。今年は、ポスターの周辺商店への配布も再開し、2000部！のパンフレットは、なんとすべて実行委員が製本しています。皆さんのお手元にも届きましたか？新聞は、Teams「山吹祭」チャンネルで発信しました。定通の枠を超え、文化祭の雰囲気盛り上げてくれましたね。



### <エントランスの設営・装飾>



多くの実行委員が協力して一気に作り上げるエントランスのステージでは、毎年たくさんの発表団体が表現豊かな発表を見せてくれます。

校内祭は、文実企画のビンゴやクイズ、先生たちのお楽しみ企画などもあり、アットホームで山吹らしい雰囲気でした。山吹祭当日の本番も含め、実行委員が発表団体をしっかりサポートしてくれました。



実行委員の力作、階段やエントランスの装飾は、皆さんも見ていただけましたか？山吹祭の第一印象を決める大切な顔ですね。今年は虹色に光る旗と、バルーンのアーチがエントランスを彩って、とても素敵な装飾でした。

### <食品企画再開！・全団体完売>

コロナ禍でしばらく実施できなかった食品企画が、今年は久々に再開しました。様々な工夫を重ね、当日は各団体スムーズに食品を提供できていました。販売面も実行委員が細かくフォローして、全団体しっかり売り切ることができました。



### <実行委員の感想紹介・担当より>

・初めての文実とっても楽しかったです！・最後の達成感がすごい。ここまで突き通せて、この仲間たちとやれて本当に良かったと感ずることができた。・当日も時間を余すことなく終わってたのしかった。・想像以上に忙しかったですが、一から文化祭を作っていく感じがすごくわくわくしたし、楽しかったです！！ありがとうございました！！・思ったよりハードでした。ですが、成功した時の喜びはとてつもないので、来年文実の人はぜひ頑張ってください！



文実の皆さん、本当にありがとうございます。大変だった分、きっと得たものも大きかったのではないのでしょうか。そして文実活動に少しでも興味がわいたあなた！来年はぜひ文実に挑戦してみてください。温かい先輩方がみんなの参加を待っていますよ。

### 定時制課程 学校行事予定

1月9日(火)	授業開始
11日(木)	避難訓練
12日(金)	自己探索学習⑧
13日(土)	大学入学共通テスト 1日目
14日(日)	大学入学共通テスト 2日目
25日(木)	午前授業(午後、入選準備)
26日(金)	入学者選抜(生徒登校禁止)

### 通信制課程 学校行事予定

1月13日(土)	スクーリング 2-12
	大学入学共通テスト 1日目
14日(日)	大学入学共通テスト 2日目
20日(土)	後期試験 1日目
27日(土)	後期試験 2日目
2月3日(土)	後期試験 3日目
10日(土)	生徒相談日